



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年11月6日

上場会社名 株式会社ディー・エヌ・エー 上場取引所 東  
コード番号 2432 URL https://dena.com/jp/  
代表者（役職名） 代表取締役社長兼CEO（氏名） 岡村 信悟  
問合せ先責任者（役職名） 取締役兼執行役員 経営企画本部本部長（氏名） 渡辺 圭吾（TEL） 03(6758)7200  
半期報告書提出予定日 2024年11月7日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト・報道機関向け）

（百万円未満四捨五入）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に 帰属する中間利益		中間包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	70,262	△6.5	5,493	14.4	5,933	△41.3	2,519	△62.9	2,999	△59.5	△316	—
2024年3月期中間期	75,147	5.5	4,801	△32.1	10,110	△38.2	6,798	△41.1	7,402	△33.3	13,800	98.1

	基本的1株当たり 中間利益		希薄化後1株当たり 中間利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期中間期	26	94	26	91
2024年3月期中間期	66	48	66	41

#### （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	322,089	217,397	206,928	64.2
2024年3月期	335,708	220,025	209,204	62.3

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
2024年3月期	円	銭	円	銭	円	銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—	—

（注） 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
2. 2025年3月期の配当予想は未定です。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

2025年3月期の連結業績予想につきましては、合理的な数値の算出が困難であるため、開示を見合わせておりますが、2024年3月期と比して増収、また、一時損益を除き、同営業増益を目指してまいります。各事業の動向等の主に想定される業績変動要因につきましては、2024年5月8日に公表しました「2024年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」の「1. 経営成績・財政状態の概況（1）当期の経営成績の概況（次期の見通し）」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	122,145,545株	2024年3月期	122,145,545株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	10,791,986株	2024年3月期	10,794,938株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	111,352,739株	2024年3月期中間期	111,342,963株

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式(2025年3月期中間期:164,771株、2024年3月期:167,812株)を含めて記載しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 連結業績予想に関して

本資料における将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 配当予想金額に関して

2025年3月期の配当予想につきましては、業績の進捗等を総合的に勘案して金額を決定する予定です。決定次第、速やかに開示いたします。

(3) 決算補足資料の入手方法

当社は、2024年11月6日に機関投資家・アナリスト・報道機関向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料は、当日の当期決算短信の適時開示後、当社ホームページに掲載いたします。また、決算説明会の動画、主な質疑応答等については、後日当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態の概況 .....	2
(1) 経営成績の概況 .....	2
(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約中間連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約中間連結損益計算書 .....	7
(3) 要約中間連結包括利益計算書 .....	8
(4) 要約中間連結持分変動計算書 .....	9
(5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(6) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(7) 要約中間連結財務諸表注記 .....	11
① セグメント情報 .....	11
② 1株当たり利益 .....	14
③ 重要な後発事象 .....	14

## 1. 経営成績・財政状態の概況

### (1) 経営成績の概況

当社グループは、エンターテインメント領域や社会課題領域で各種事業を展開しておりますが、企業価値の向上に向け、それぞれの特徴を活かした収益基盤の形成や、構造的・継続的に成長する事業群の形成、事業間のシナジーの形成等に取り組んでおります。

当中間連結会計期間(2024年4月1日から2024年9月30日まで)において、売上収益は、70,262百万円(前年同期比6.5%減)となりました。主な変動要因は、後述のセグメント別の業績に詳述のとおりとなっております。

売上原価については、36,378百万円(前年同期比7.7%減)となりました。ライブストーリーミング事業やゲーム事業の動向や、業績推移に応じて変動する支払手数料が減少いたしました。

販売費及び一般管理費は、27,876百万円(前年同期比9.6%減)となりました。主にゲーム事業やライブストーリーミング事業の業績推移に応じ、支払手数料が減少しました。

金融収益は2,053百万円(前年同期比47.9%減)となりました。金融費用は為替の変動等が影響し、1,457百万円(前年同期比1,667.9%増)となりました。

持分法による投資損失は、157百万円(前年同期は1,451百万円の利益)となりました。前年同会計期間には、主な持分法適用関連会社であるGO株式会社における第三者割当増資による一時的な利益の影響がありました。

以上の結果、当社グループの売上収益は70,262百万円(前年同期比6.5%減)、営業利益は5,493百万円(前年同期比14.4%増)、税引前中間利益は5,933百万円(前年同期比41.3%減)、親会社の所有者に帰属する中間利益は2,999百万円(前年同期比59.5%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①ゲーム事業

ゲーム事業の売上収益は22,548百万円(前年同期比14.4%減)、セグメント利益は2,380百万円(同462.8%増)となりました。

既存のタイトルを中心とした事業運営となり、ユーザ消費額は前年同期比で減少しましたが、前連結会計年度から取り組んでいる中国拠点の大幅縮小等によって費用が減少し、前年同期比で増益となりました。

#### ②ライブストーリーミング事業

ライブストーリーミング事業の売上収益は20,639百万円(前年同期比5.5%減)、セグメント損失は797百万円(前年同期は89百万円の損失)となりました。

当中間連結会計期間においては、国内の「Pococha(ポコチャ)」ではTVCM等のマーケティングを実施しました。「IRIAM(イリアム)」は引き続き成長しました。

#### ③スポーツ事業

スポーツ事業の売上収益は21,553百万円(前年同期比1.4%増)、セグメント利益は7,484百万円(同0.5%増)となりました。

当中間連結会計期間においては、プロ野球における主催試合の数は前年同期比で少なかったものの、観客動員数等は好調に推移しました。

#### ④ヘルスケア・メディカル事業

ヘルスケア・メディカル事業の売上収益は4,032百万円(前年同期比4.6%減)、セグメント損失は2,631百万円(前年同期は2,206百万円の損失)となりました。

ヘルスケア領域は、主に、データヘルス計画の策定年度には該当しないことから、前年同期比で減収となりました。データ利活用に関しては、下期の需要期に向け、パイプラインの積み上げは順調に進捗しております。メディカル領域では、医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join(ジョイン)」の導入施設数等は引き続き増加しており、また、ポータブル医療機器とJoinを組み合わせたJoin Mobile Careを活用したプロジェクト等についても今期の貢献に向け、議論を進めています。

⑤新規事業・その他

新規事業・その他の売上収益は1,674百万円(前年同期比10.0%増)、セグメント損失は505百万円(前年同期は588百万円の損失)となりました。

当区分には、中長期での事業ポートフォリオの強化を目指した各種取り組みやEC事業におけるサービス等を含んでおります。

(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの概況

①財政状態

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ13,619百万円減少し、322,089百万円となりました。

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ13,828百万円減少し、100,232百万円となりました。この主な要因は、売掛金及びその他の短期債権が11,695百万円減少したこと等によるものであります。

非流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ209百万円増加し、221,857百万円となりました。この主な要因は、使用権資産が2,156百万円増加したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ10,991百万円減少し、104,692百万円となりました。

流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ11,925百万円減少し、37,289百万円となりました。この主な要因は、その他の流動負債が7,724百万円減少したこと等によるものであります。

非流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ934百万円増加し、67,404百万円となりました。この主な要因は、リース負債が2,502百万円増加したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末の資本合計は、前連結会計年度末に比べ2,629百万円減少し、217,397百万円となりました。この主な要因は、親会社の所有者に帰属する持分合計が2,277百万円減少したこと等によるものであります。

流動性に関する指標としては、当中間連結会計期間末において流動比率268.8%、親会社所有者帰属持分比率64.2%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ4,241百万円増加し、75,637百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は14,649百万円(前年同期は4,415百万円の支出)となりました。主な収入要因は売掛金及びその他の短期債権の増減額11,579百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5,079百万円(前年同期は6,515百万円の支出)となりました。主な支出要因は無形資産の取得2,571百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5,078百万円(前年同期は3,912百万円の支出)となりました。主な支出要因は配当金支払額2,228百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、合理的な数値の算出が困難であるため、開示を見合わせておりますが、2024年3月期と比して増収、また、一時損益を除き、同営業増益を目指してまいります。

各事業の動向等の主に想定される業績変動要因につきましては、2024年5月8日に公表しました「2024年3月期決算短信〔IFRS〕(連結)」の「1. 経営成績・財政状態の概況(1) 当期の経営成績の概況(次期の見通し)」をご参照ください。

## 2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	71,396	75,637
売掛金及びその他の短期債権	30,071	18,375
未収法人所得税	5,845	226
その他の短期金融資産	408	553
その他の流動資産	6,340	5,440
流動資産合計	114,060	100,232
非流動資産		
有形固定資産	5,893	6,652
使用権資産	16,021	18,178
のれん	33,562	33,562
無形資産	17,803	18,864
持分法で会計処理している投資	56,512	56,656
その他の長期金融資産	91,125	87,269
繰延税金資産	679	633
その他の非流動資産	52	42
非流動資産合計	221,648	221,857
資産合計	335,708	322,089

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金及びその他の短期債務	21,337	17,108
借入金	8,613	6,986
リース負債	1,606	1,145
未払法人所得税	601	2,820
引当金	2,741	2,597
その他の短期金融負債	1,093	1,135
その他の流動負債	13,221	5,497
流動負債合計	49,213	37,289
非流動負債		
借入金	29,151	28,631
リース負債	5,135	7,637
引当金	254	251
その他の長期金融負債	638	549
繰延税金負債	31,113	30,159
その他の非流動負債	180	177
非流動負債合計	66,470	67,404
負債合計	115,683	104,692
資本		
資本金	10,397	10,397
資本剰余金	15,750	15,653
利益剰余金	162,578	163,346
自己株式	△20,757	△20,747
その他の資本の構成要素	41,237	38,279
親会社の所有者に帰属する持分合計	209,204	206,928
非支配持分	10,821	10,469
資本合計	220,025	217,397
負債及び資本合計	335,708	322,089



## (2) 要約中間連結損益計算書

【中間連結会計期間】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上収益	75,147	70,262
売上原価	△39,396	△36,378
売上総利益	35,751	33,885
販売費及び一般管理費	△30,853	△27,876
その他の収益	207	297
その他の費用	△304	△812
営業利益	4,801	5,493
金融収益	3,940	2,053
金融費用	△82	△1,457
持分法による投資損益(△は損失)	1,451	△157
税引前中間利益	10,110	5,933
法人所得税費用	△3,313	△3,414
中間利益	6,798	2,519
以下に帰属する中間利益(損失)		
中間利益：親会社の所有者に帰属	7,402	2,999
中間損失：非支配持分に帰属	△604	△481
合計	6,798	2,519
		(単位：円)
親会社の所有者に帰属する1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益	66.48	26.94
希薄化後1株当たり中間利益	66.41	26.91

## (3) 要約中間連結包括利益計算書

【中間連結会計期間】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間利益	6,798	2,519
その他の包括利益		
純損益に振り替えられないその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
資本性金融商品への投資による利得(損失) (税引後)	6,612	△3,192
純損益に振り替えられないその他の包括利益の 内訳項目(税引後)合計	6,612	△3,192
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
為替換算差額(税引後)	194	365
キャッシュ・フロー・ヘッジ	193	△4
その他	3	△3
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内 訳項目(税引後)合計	390	357
その他の包括利益(税引後)	7,002	△2,835
中間包括利益合計	13,800	△316
以下に帰属する中間包括利益		
中間包括利益：親会社の所有者に帰属	14,404	24
中間包括利益：非支配持分に帰属	△604	△340
合計	13,800	△316

## (4) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2023年4月1日残高	10,397	15,591	193,586	△20,794	22,846	221,626	12,367	233,993
中間利益又は中間損失(△)	-	-	7,402	-	-	7,402	△604	6,798
その他の包括利益	-	-	-	-	7,002	7,002	0	7,002
中間包括利益合計	-	-	7,402	-	7,002	14,404	△604	13,800
所有者への分配として認識した 配当	-	-	△2,227	-	-	△2,227	△192	△2,419
自己株式取引による増加(減少)	-	△16	-	16	-	-	-	-
株式報酬取引による増加(減少)	-	△15	-	-	40	25	-	25
利益剰余金から資本剰余金への 振替	-	7	△7	-	-	-	-	-
非支配持分の取得及び処分等	-	228	-	-	-	228	473	701
振替及びその他の変動による 増加(減少)	-	△7	10	-	△10	△7	76	69
2023年9月30日残高	10,397	15,788	198,764	△20,778	29,878	234,048	12,120	246,169

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2024年4月1日残高	10,397	15,750	162,578	△20,757	41,237	209,204	10,821	220,025
中間利益又は中間損失(△)	-	-	2,999	-	-	2,999	△481	2,519
その他の包括利益	-	-	-	-	△2,976	△2,976	141	△2,835
中間包括利益合計	-	-	2,999	-	△2,976	24	△340	△316
所有者への分配として認識した 配当	-	-	△2,227	-	-	△2,227	△63	△2,290
自己株式取引による増加(減少)	-	△10	-	10	-	△0	-	△0
株式報酬取引による増加(減少)	-	22	-	-	19	41	-	41
利益剰余金から資本剰余金への 振替	-	5	△5	-	-	-	-	-
非支配持分の取得及び処分等	-	△98	-	-	-	△98	56	△42
振替及びその他の変動による 増加(減少)	-	△15	-	-	-	△15	△6	△21
2024年9月30日残高	10,397	15,653	163,346	△20,747	38,279	206,928	10,469	217,397

## (5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	10,110	5,933
減価償却費及び償却費	3,199	2,407
有価証券損益(△は益)	△1,555	25
受取利息及び受取配当金	△1,174	△1,385
支払利息	82	125
持分法による投資損益(△は益)	△1,451	157
売掛金及びその他の短期債権の増減額(△は増加)	7,270	11,579
買掛金及びその他の短期債務の増減額(△は減少)	△3,695	△4,070
前受金の増減額(△は減少)	△7,661	△8,131
その他	1,035	2,000
小計	6,161	8,639
利息及び配当金の受取額	1,304	1,289
利息支払額	△68	△72
法人所得税支払額	△11,851	△1,016
法人所得税還付額	39	5,810
営業活動による正味キャッシュ・フロー	△4,415	14,649
投資活動によるキャッシュ・フロー		
子会社又はその他の事業の売却による支出	-	△27
関連会社株式の取得のための支出	△538	△401
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	304	226
有価証券及び投資有価証券の取得のための支出	△771	△1,150
有形固定資産の取得	△2,796	△1,179
無形資産の取得	△3,296	△2,571
資産除去債務の履行による支出	△68	△2
敷金及び保証金の回収による収入	131	28
その他	519	△3
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△6,515	△5,079
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△694	△1,986
長期借入金の返済による支出	△241	-
リース負債の返済	△898	△856
配当金支払額	△2,228	△2,228
非支配持分からの払込による収入	325	3
非支配持分への配当金の支払額	△192	△20
自己株式の処分による収入	16	10
自己株式の取得のための支出	-	△0
その他	△0	△0
財務活動による正味キャッシュ・フロー	△3,912	△5,078
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△14,842	4,492
現金及び現金同等物の期首残高	97,732	71,396
現金及び現金同等物の為替変動による影響	1,272	△251
現金及び現金同等物の中間期末残高	84,163	75,637

## (6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (7) 要約中間連結財務諸表注記

## ① セグメント情報

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループは、主にモバイル・PC向けのインターネットサービスを提供しており、サービスの種類別に事業部門等を設置しております。各事業部門等は、取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、サービスの種類別のセグメントから構成されており、「ゲーム事業」、「ライブストリーミング事業」、「スポーツ事業」、「ヘルスケア・メディカル事業」の4つを報告セグメントとしております。

各セグメント区分に属するサービスの種類は、以下のとおりであります。

セグメント区分	サービスの種類
ゲーム事業	モバイル向けゲーム関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： ゲームアプリの配信、「Mobage（モバゲー）」等
ライブストリーミング事業	ライブストリーミング関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： 「Pococha（ポコチャ）」、「IRIAM（イリアム）」等
スポーツ事業	スポーツ関連サービス（日本国内） 主要サービス： 「横浜DeNAベイスターズ」、「横浜スタジアム」の運営、「川崎ブレイブサンダース」、「SC相模原」等
ヘルスケア・メディカル事業	ヘルスケア・メディカル関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： ヘルスビッグデータ関連サービスの提供、「Join（ジョイン）」をはじめとする医療DX関連サービス等
新規事業・その他	新規事業及びその他サービス（日本国内） 主要事業領域： EC事業、その他の新規事業等

## (2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

報告セグメントの会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表に記載している当社グループの会計方針と同一であります。

報告セグメント間の売上収益は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は以下のとおりであります。

前中間連結会計期間

(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

	ゲーム 事業	ライブスト リーミング 事業	スポーツ 事業	ヘルスケア ・メディカ ル事業	新規事業 ・その他 (注) 2	調整額 (注) 3	合計
売上収益							
外部顧客からの売上収益	26,298	21,844	21,258	4,226	1,521	—	75,147
セグメント間の売上収益	52	—	2	—	1	△55	—
計	26,351	21,844	21,260	4,226	1,523	△55	75,147
セグメント利益(損失) (注) 1	423	△89	7,446	△2,206	△588	△88	4,899
その他の収益・費用(純額)							△98
営業利益							4,801
金融収益・費用(純額)							3,857
持分法による投資損益(△は損失)							1,451
税引前中間利益							10,110

(注) 1 セグメント利益(損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業・その他の新規事業等を含んでおります。

3 セグメント利益(損失)の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当中間連結会計期間

(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	ゲーム 事業	ライブスト リーミング 事業	スポーツ 事業	ヘルスケア ・メディカ ル事業	新規事業 ・その他 (注) 2	調整額 (注) 3	合計
売上収益							
外部顧客からの売上収益	22,488	20,639	21,442	4,023	1,671	—	70,262
セグメント間の売上収益	60	—	111	9	4	△185	—
計	22,548	20,639	21,553	4,032	1,674	△185	70,262
セグメント利益(損失)(注) 1	2,380	△797	7,484	△2,631	△505	77	6,008
その他の収益・費用(純額)							△515
営業利益							5,493
金融収益・費用(純額)							596
持分法による投資損益(△は損失)							△157
税引前中間利益							5,933

(注) 1 セグメント利益(損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業・その他の新規事業等を含んでおります。

3 セグメント利益(損失)の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## ② 1株当たり利益

親会社の所有者に帰属する1株当たり中間利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
親会社の所有者に帰属する中間利益 (百万円)	7,402	2,999
中間利益調整額		
：子会社の発行する潜在株式に係る調整額	—	—
希薄化後1株当たり中間利益の計算に使用する中間利益	7,402	2,999
基本的期中平均普通株式数 (株)	111,342,963	111,352,739
希薄化性潜在的普通株式の影響		
：ストック・オプション等	114,888	110,413
希薄化後の期中平均普通株式数	111,457,851	111,463,152
親会社の所有者に帰属する1株当たり 中間利益 (円)		
基本的1株当たり中間利益	66.48	26.94
希薄化後1株当たり中間利益	66.41	26.91
逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり中間利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	連結子会社の発行するストック・オプション(ストック・オプションの目的となる子会社の普通株式の数132,000株)	—

## ③ 重要な後発事象

該当事項はありません。